

## 令和7年度 障がいのある方の就労を考えるフォーラム アンケート(全文)

感想、意見
障がい者雇用をしている企業側のお話と、ご本人のお話を聞く貴重な機会でした。10年以上も働くことができている見高さんには、これからも目標に向かって頑張ってもらいたいとエールを送りたいです。
今回は、大学での授業内において1部のお話ですが、つなげていただき大変有意義な時間となりました。教員や民間企業を目指す3、4年生にとっては、初めてお聞きするような現場のお話で勉強になったようです。このたびはどうもありがとうございました。
支援者だけが頑張るのではなく、様々な関係機関の人々がサポートできたら出来ることの幅が広がると感じました。
その人に合った働き場所を見つけるのも大切ですが、その人に合った働き方と、小さな成功体験も大切な気がしました。
障害があるから出来ない決めつけるのではなく、適した支援で行えば素直に働くことができるのだと実感しました。
ジョブコーチ支援により作業内容を見直す点が必要な支援だと感じました。出来るように教えていくと言うのもとても必要だと思いますが、出来ることをフル活用するための工夫が見高さんには合っていたのかなと感じました。
ジョブコーチと出会う変わった人の話を聞き、仕事を明確化したり、内容を伝えるだけが仕事では無いのだと強く感じました。
障害があってもなくても、みんなに対してこうやって向き合えたら良いのにと感じました。
この連携や協力がもっと広い範囲でたくさんの方で実行されていくべきだと思います。
仕事の効率化だけでなく、障害者そして周りの人々との信頼関係が芽生えることで得られる社会性や気づきはたくさんあると思いました。
実際に働いている当事者の話はとても新鮮でした。
新しい制度について全く知らなかったので知れて良かったです。
表彰された見高さん、素晴らしかったです。
就労選択のプロセスや課題、解決の例など参考になった。
就労選択支援に関する内容はまだまだ理解不足でしたが、今回このようにご説明頂いたことで理解出来た部分もあり参考となりました。
就労選択支援に対して利用される方たちの為に理解しなければならぬと思った。課題も多い中、進んでいる現状に対して随時確認が必要なんだと思った。身近に事例があれば聞きたい。
ジョブコーチ、今回の研修で初めて知りましたが、もっともっと認知されて「福祉」という観点だけでなく、「仕事」を通して、当事者が実りある生活を送れる社会になれば良いと感じました。当事者である見高さんのお話を拝聴できてよかったです。あらゆる立場の方の雇用環境を整えようという事業所の努力には頭が下がる思いです。
就労選択支援については専門的な点は難しいでしたが、当事者ファーストで推進されるべき制度であることは理解できました。本人が決め選ぶための力を育てる支援に親としてどう関わっていくか模索を続けたいと思います。
4月から高等支援学校へ進学予定ですが、早ければ3年後の就労に向け、少しでも未来像をイメージすることができそうです。
会場とWEB参加で選べるスタイルが良かった。今後もこのスタイルだと参加しやすい。
滝上ハピニスさんのお話は非常に参考になりました。障害のある方に働きやすい職場環境は、外国人や高齢者はもちろん、誰にとっても働きやすいということに共感です。吉田センター長には、遠路はるばる感謝です。また、今回のフォーラムの企画運営された皆様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。
滝上ハピニス様のご発表では、当施設でも先日、知的障害のある方を障害者雇用として迎えたところだったので、業務整理の方法や考え方の転換など、対応や支援の参考になる点が多くありました。現在は、あおぞらさんのご支援もあり入職までスムーズに進みましたが、今後はさまざまな課題も出てくるかと思えます。見高さんのように長く働いていただけるよう、働きやすい環境づくりを進めていきたいと考えております。また、ジョブコーチのご講話も大変参考になりました。吉田様の就労選択支援についてのお話に関しても、当法人には障害者支援部門があり、就労Bや相談支援事業所を運営していることから、今後の関わり方を改めて整理していく必要性を感じました。地域差などもあるとのことでしたので、郡部における取り扱いについては行政等へ確認が必要であると考えています。いただいた資料につきましては法人内の関係者にも共有し、理解を深めてまいりたいと思います。

## 感想、意見

就労選択事業について知ることができてとてもよかったです。

前半の実際の雇用事例とジョブコーチ支援の内容、後半の新たな制度に関する具体的な情報をいただき、とてもバランスよく学ぶことができました。現在企業に在籍している立場としても、福祉制度を理解することの大切さを改めて感じました。

今回はオンライン参加だったため、音声聞き取りにくい場面もありました。可能であれば、次回は現地で参加したいと思います。

ジョブコーチの存在も大きいですが、谷脇氏の障がい者雇用への責任感の強さは素晴らしいと思いました。見高さんの純粋な真面目さをひしひしと感じるお話しでした。就労選択支援については、前日に道主催の研修会で吉田センター長のお話を聞いていたので、また機会があれば、具体的に苦労した点などお聞きできたらと思います。連日の研修会、天候も良くない中ありがとうございました。

一般の者には、難しかったです。

学びと感動をありがとうございました。特に谷脇さん、見高さんのお話、涙が止まりませんでした。障害の有無に関わらず、支え合って社会は成り立っているんですよ。

滝上ハピネスの事例は、職員の深い理解と、あおぞら・ジョブコーチによる伴走型支援が、障がいのある方の長期就労だけでなく、外国人や一般雇用にも応用され、組織全体の強化にも繋がり、雇用課題を「ピンチをチャンス」に変えた素晴らしい事例だと感じました。一方、就労選択支援に関する講演からは、従来の直BアセスメントがB型ありきになりがちだった課題を、就労選択支援を通じて、本人の可能性の幅が大きく広がればと感じました。特に新卒者に対しては、早い段階で選択支援を行うことで、本人とご家族の多様な進路選択肢が広がることに期待しています。天羽さんの質問、ちょうど気になる点だったのでグッジョブです。

色々な話が聞けて良かった。

ジョブコーチなどアウトリーチの支援の重要性を改めて実感しました。

当事業所にも障がいのある方が就労しており、あおぞら様、ジョブコーチの方にお世話になっておりますので、他事業所の取り組みなどとても参考になりました。

『障がいのある方が長く働き続けられた理由』では、「コーチングスキルは障害者雇用のみならず人材育成に必要な視点」という言葉がとても印象に残りました。私自身が新人である中で、障がいのある方への配慮を知るほど「自分にもそういうものがあつたら嬉しいな」と思うものが多いなと感じています。ですので、「障害者雇用」を通じて、障がいの有無に限らず若手も、その若手を育てる側も、ともに働きやすい環境を作っていくという意識が広がっていけばいいなと思いました。当事者の方からのお話もすごく心温まるお話でした。加えて支援者の方の補足のお話からも含めて、すごく愛されるお人柄の方なのだなと感じました。

『就労選択支援が10月にスタートしたが…』では、最後に話されていた「選ぶ力を育てる支援者」という言葉がとても印象に残りました。支援者として様々な選択肢を用意できることは普段からも意識しているところであったものの、その選択肢を目の前の利用者さんが選べるようにするというところまでは意識が至っていません。選ぶ力とは何か…。私自身も選ぶことに自信がある方ではない為に、すごく難しい問いだなと感じました。ただ、同じく選ぶことに苦難している利用者さんとともに選ぶ力を育てていければいいなとも思いました。

今後の取り組みに、大いに参考になりました。

先日の網走呼人での研修会での形通りの就労選択支援の説明より、ずっとリアル感がある話で良かった。

障がい者雇用に関しては、本人及び事業所、双方の協力等が必要と感じました。本人のやる気が1番ですが、JCを介入しての就労体系の見直し等で改善され、本人も事業所も、より働きやすい環境になり、継続や定着に結びつくと思いました。貴重な時間ありがとうございました。

当事者の方の生の声、思いを直接聞かせていただき、とても良い機会となりました。ありがとうございました。

障がい者雇用に関して、実際に雇用している側の声や、働いている側の声を聞くことができ、良かった。また、JCの役割や効果を改めて理解することが出来た。就労選択支援に関して、現状と課題について非常に分かりやすい資料であった。今後のそれぞれの関係機関の役割や教育機関として在り方を考え直す機会になった。

就労選択支援サービスについて、実際、運用が始まった地域の話を知ることができてよかった。北見やオホーツクでは、どのように運用されるのか、考えさせられました。教育で出来ることも、ご提案いただきありがたかったです。

**感想、意見**

就労選択支援のイメージが少し具体化されました。専門性の高さ、地域資源との連携など、課題も多いことが予想され、大変参考になりました。見高さんと谷脇さん、職場の皆さんの関係性の良さを感じました。20年勤務を目指してほしいです。

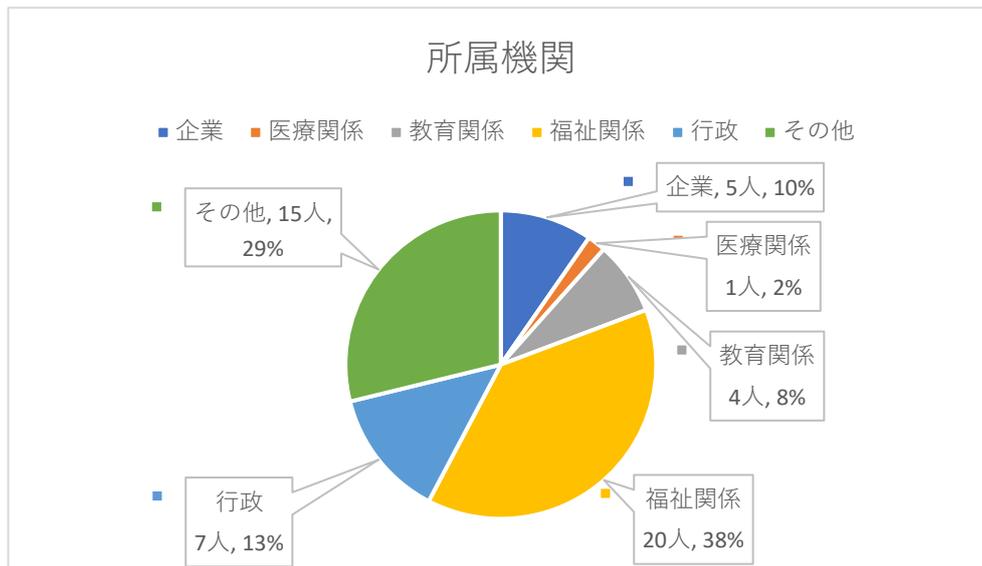
療育手帳を持つ生徒の進路指導の参考にしたい、初めて参加しました。全く触れたことのない業界、分野のお話で興味深く、貴重な機会となりました。高卒就職後、職場で上手くやっていくための指導は学校生活の中で行いますが、特に特性を持っている子が、理解ある職場で一生懸命働いて、社会生活を送って欲しいと思っています。今後も機会があれば参加させていただこうと思います。

大変勉強になりました。時間の制限があり、難しいかと思いますが、時間を延長して講話をして頂きたかったです。

本人の仕事への思いを聞いて良かったです。

就労先は学校から示されて、そこへという流れが多いように思いますが、今回ような就労の仕方もあり、ジョブコーチが入ることで改善され、長期就労に繋がるとわかり、新たな一面を知ることが出来ました。

回答数 52人 / 参加者 89人 = 回答率 58%



その他内訳：独立行政法人、当事者家族、無職、学生、無回答

